

令和8年度認知症サポーター養成講座

【日 時】令和8年6月30日(火)

午前2時から午後4時まで

【場 所】宮城県石巻合同庁舎 大会議室

【参加者】石巻市内の県職員(計31名)

【内 容】

1 講義「認知症を理解する」

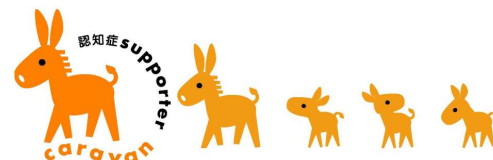
講師:石巻市保健福祉部介護福祉課職員

2 講演「認知症とともに生きる」

講師:みやぎ認知症応援大使 鈴木 正勝氏

宮城県若年性認知症支援コーディネーター 川井 丈弘氏

認知症になっても
自分らしく暮らせる
地域へ



内容詳細

1 講義「認知症を理解する」

- 石巻市の認知症事業担当職員から、認知症サポーターの役割や、認知症の基礎知識等についてご講義いただきました。
認知症を正しく理解し、当事者や家族を地域で支えるための考え方や関わり方について学びました。



2 講演「認知症とともに生きる」

- 認知症と診断されたときの当時の思いやご家族の支え、生活する中での工夫等について鈴木さんのご経験からお話していただきました。
鈴木さんから「認知症と診断されても自分らしく生活することができる」というメッセージが伝えられました。



アンケート結果

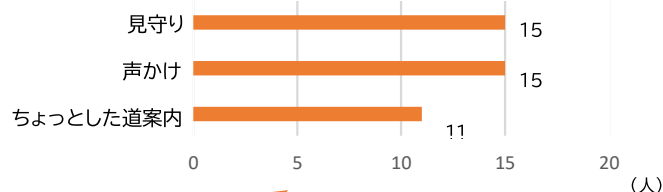
- 受講前後で認知症に関するイメージは変わりましたか？

9割以上の参加者が、イメージが「変わった～少し変わった」と回答されました。

【イメージが変わった理由】

- ・認知症になってもできることはたくさんあり、それを実現できるような環境調整が大切だと感じることができました。
- ・鈴木さんがとても明るい方で、自身が抱いていた認知症のイメージが変わりました。

- 認知症サポーターとしてできそうなこと



認知症サポーターは、特別な活動を行う人ではありません。普段の「見守り」や「声かけ」が認知症の人やその家族を支える力になります。皆さんもできることから取り組んでみませんか。

感想

- ・認知症になっても、本人が生活を選択して、いきいきと過ごすことができるのだと学ぶことができました。
- ・自分の周囲に認知症の方はいませんが、誰でもなり得る病気であること、身近なものだと改めて感じました。
- ・今の自分にできるサポートは少ないかもしれませんが、できることをさりげなくやっていきたいです。

今後も、一人でも多くの方に認知症への理解を深めていただけるよう、市町等と連携し、認知症の普及啓発を進めてまいります。